

令和2年5月11日

保護者各位

通信制課程副校長 大橋 行博

新型コロナウイルス対策としての対応について

浅黄色の若葉が目にも爽やかな候となりました。保護者の皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、わが通信制の前期スクーリングがこの8日（金）から始まりました。久しぶりに友達と会ってはしゃぐ姿、明るい笑い声が校舎に響きました。

とは申せ、新型コロナウイルスの対応が厄介です。

大切なお子様をお預かりしている教育機関として、私ども通信制でも、理事長・校長の了承の上、以下のような対策を取ることと致しました。ご理解の上ご協力のほどお願い致します。

1 スクーリングの様式を次のように変えます。

- * 金・土曜日のスクーリングは従来通りの教科授業の形に加えて生徒個々の自主学習の形をとる場合もあります。

スクーリングに出席する人数はその日によって異なり、想定することができません。

特に3年次生は、5月1日現在57名となります。密度の問題を抜きにしても、もし全員出席したら一つの教室には収まりません。

全員同じ科目を履修していることは幸いにありませんが、しかし、相当にいわゆる「3密」の状態になります。よってその場合は、同じ科目を二教室に分けざるを得ません。その上で、授業形態でなく自習形態をとり、スクーリングと認める形になります。

2 スクーリング日として、平日の月・火・木曜日も登校を認めることとします。

- * 平日に登校し、各教室で自習して過ごします。もちろん、各教員が巡回し指導に当たりますから個人的に質疑応答の形で学習が進められます。

下校時に、学習時間帯や学習内容をカードに記入し提出することにより、その時間帯をスクーリングの出席と認めるというわけです。

（当然ですが、飲食やおしゃべり、スマホのゲームなどで過ごして認められるわけではありません）

- * 平日出校は時間割がありませんから、登下校時間は通常の時間帯であれば本人の自由とします。

3 校内では必ずマスク着用のこと。

- ・ 8日9日は全員マスク登校し素晴らしいと思いましたが、玄関を出てからマスクを取りおしゃべりしている人も見かけました。友人であるかどうかは関係ありません。人と話すときは、必ずマスクをする習慣を身につけてほしいと思います。
- ・ 人と話すときはマスクをして話すというのが、世界的に新しいマナーとして定着しつつあるようです。生徒の皆さんも習慣が身につくよう頑張してほしいと思っています。
- * 保護者の皆様には、対応についてのご心配や疑義がございましたら、いつでもご相談ください。